



山陽小野田市

SANYO-ONODA CITY

活動取組

山陽小野田市の推進構想

- 1 地域力・学校力・家庭力向上プロジェクトの推進
 - 学校と地域・家庭等が連携・協働し、「人が育ち 人が輝き 人がつながる コミュニティ・スクールの創造」を図る。
 - 学びを通じて「ひとづくり」「地域づくり」に波及させる「地域学校協働活動」を積極的に推進する。

家庭・地域と連携・協働する学校づくりの推進



- 2 地域連携教育の「成果」と「課題」

- <成果>
- 市内全小・中学校で「学校・地域連携カリキュラム」が策定され、多くの学校で改善に向けた協議が行われている。
 - コロナ禍でありながらも、地域住民と児童生徒がともに考える場の設定に取り組む学校が増えている。

<課題>

- 地域学校協働活動推進員の役割や活動について、教職員の認知度がやや低く、周知が必要である。

- 3 令和5年度の重点取組事項

- 地域と小・中学校を通じた9年間の「学校・地域連携カリキュラム」の見直しと改善
- 地域資源を活用したふるさとを愛する心の育成
- 「地域学校協働活動推進員」の資質向上及び連携強化に向けた研修機会の提供

- 4 重点取組事項の進捗を測る指標

- 「学校・地域連携カリキュラム」の協議の場の設定 100%
- 地域住民と児童生徒がともに考える場の設定 90%以上
- 学校・地域の課題について協議する場の設定 90%以上
- 児童生徒の地域ボランティア活動への参加 90%以上
- 地域学校協働活動推進員の認知度 90%以上

市立厚陽小中学校

地域住民と児童生徒がともに考える場



魅力あふれる地域にするためにできることとして、大人と子どもたちの願いや考えが話し合われた。

市立高千帆中学校区

合同学校運営協議会



部会別に各校での取り組み状況等の意見交換を行い、全体会で情報共有が行われた。

市立本山小学校

海の学習



地域資源を生かした学習を通して、ふるさとへ誇りや愛着を育む取組が伝統となっている。

情報交換会



地域学校協働活動推進員の資質向上を図るため、取組の様子や工夫等の情報交換が行われた。